



# 学校だより

平成 26 年 6 月 1 6 日

四日市市立小山田小学校

## \*\*\* 地域の歴史的な史跡を学習しました。 \*\*\*

6年生の地域学習で、12日に郷土史愛好会の山家さん、中村さんから小山田地区にある史跡について話をいただきました。形が残っている史跡の多くは古墳であること、古墳が多くあることから3世紀半ばから7世紀末の古墳時代に多くの方がすでに生活していた地域であること、須恵器や土師器が出土していること、出土品の一部が光輪寺に展示されていること、地域の歴史や文化などを知り地域を大切にしてほしいことなどを話していただきました。

地域学習は地域の学習支援の方の力で学習の深まりがあり、また地域への興味・関心を育てることにつながります。将来的に地域を大切にする心が育まれます。歴史が身近に感じられて、小山田地区を歴史的な視点で見つめる時間でした。



## ♪♪♪ 除草作業により、とても清々しい環境になりました。♪♪♪

8日（日）早朝より、除草作業をしていただきました。

プール開きを控え、清々しい環境に整えていただきました。

週明けの学級指導では、子どもたちのためにたくさんの方が奉仕作業をしていただいたことを伝えました。奉仕作業について、学年に応じて考える機会としました。



フジ棚や東屋付近にある、ビオトープの貯水桶の掃除も始めました。少し時間がかかりそうですので、安全のため柵をしました。

\*\*\* 学校づくりビジョンについての話です。 \*\*\*

PTA 総会で少し話をさせていただきました。また、学校便りにも学校づくりビジョンを載せました。今回は、少し詳しく説明します。

学校教育目標「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成」を掲げています。学校がめざしていく指針です。

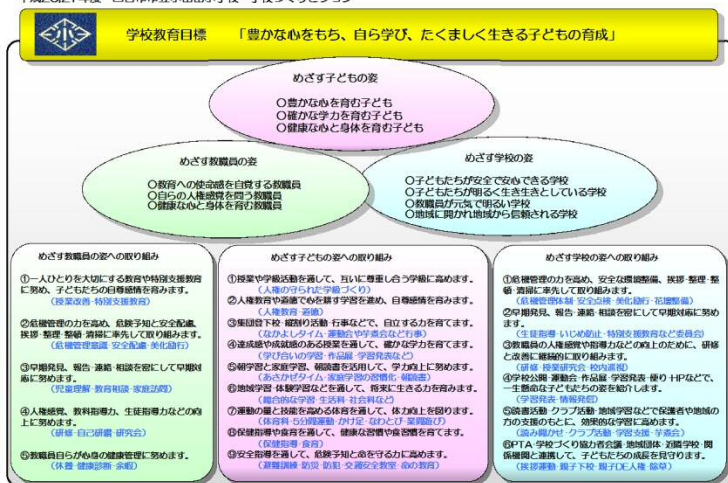
具体的には、めざす子どもの姿として「豊かな心を育む子、確かな学力を育む子、健康な心と身体を育む子」を掲げています。一生懸命がんばる姿が見られることで学校教育目標が達成されたとか、目標に近づいたとか、学校自身を評価します。

「豊かな心を育む子」を育てるために、具体的な3つの主な場面があります。

- ①授業や学級活動を通して、互いに尊重し合う学級に高めます。  
(人権の守られた学級づくり)
- ②人権教育や道徳で心を耕す学習を進め、自尊感情を育みます。  
(人権教育・道徳)
- ③集団登下校・縦割り活動・行事などで、自立する力を育てます。  
(なかよしタイム・運動会や芋煮会など行事)

これらの場面を通して、自分の考えを持つ、友だちに伝える、友だちの考えを聞く、意見の違いを理解する、話し合い調整する、相手の気持ちを考える、相手を理解する等の経験を積み重ね、自尊感情と人権感覚を高めていけるように、様々な活動の計画をしています。

今回は、学校教育目標の「豊かな心を育む」観点での説明でした。



インターネットで、小山田小学校ホームページも見てください。「四日市市立小山田小学校」で検索をしていただけと表示されます。

( 文責 鳥羽 )